

# 農園通信

2021年9月・10月

発行・問合せ先 福田  
(農業振興団体協議会・町民農園部会)

[fukuda-ka@amail.plala.or.jp](mailto:fukuda-ka@amail.plala.or.jp)

## 秋の1日、春の7日

長雨とそのあとの猛暑、ジェットコースターのような季節の変わり目でしたね。夏野菜の片づけ、秋冬野菜の植え付けは進みましたか。日照時間が短くなり気温の下がっていく秋は、1日の遅れが春の7日に相当します。のんびりしていると適期を逃します。

◇大根の種はいつ蒔く？

良く使われる種はタキイの「耐病総太り」。早い方は8月20日頃から種蒔きします。ただし今年のように猛暑の時は強い日差しでやられるので、遮光ネット等で少し日除けの工夫をしてやります。9月に入り紫外線も少し和らぐと遮光は要りません。

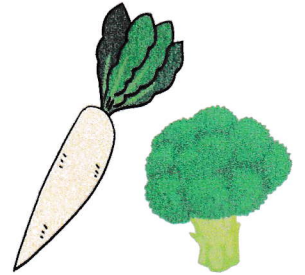
9月は良く虫にやられます。シンクイムシ(ハイマダラノメイガ)やダイコンサルハムシ等。種の蒔き直しはいつまでできるか。10月初旬ぐらいまででしょうか。それより遅いと、気温が下がっていくので大根は太りません。

◇ブロッコリーの苗はいつ植える？ ブロッコリー(ハイツ)は強勢で作りやすく、頂花蕾と側枝花蕾が春まで採れる優れたものです。株を大きく育ててやるとたくさん採れます。大きな株を作るには、早く(8月末~9月初め:気温の高い間)に植え付けるのが良いです。

◇菊菜(中葉)は9月初めでも発芽。菊菜(大葉)は少し気温が下がってからのほうが発芽しやすいです。

◇サニーレタスは発芽適温 20度前後で、レタス類の中では早くから、9月初旬でも発芽しやすいです。発芽には光が必要なので土は薄くかけます。

◇ホウレンソウは発芽適温 15度~20度で、少し気温が下がってからのほうが発芽しやすいので、10月に種を蒔くのが無難です。



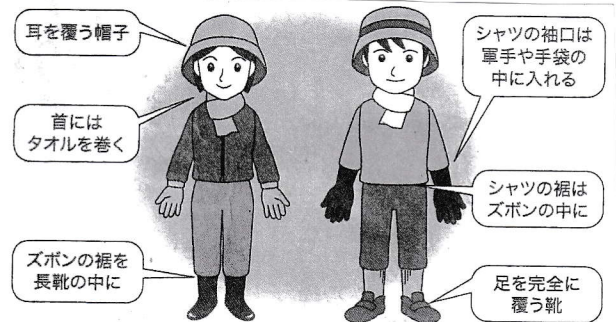
## 農作業の服装

畑はいろいろな生き物の共存空間。(人間の方がたまに現れるよそ者) 大きな虫から目に見えない細菌まで多様です。

破傷風菌対策=土いじりは必ず手袋をすること。

マダニ対策=肌の露出を少なくすること。(右の図参照)

自然を楽しむには危険性への知恵も必要です。



※厚生労働省「マダニ対策、今できること」などを参考に作成



## 農を支える虫たちーアシナガバチ (農業新聞参照)

「さるかに合戦」のハチはアシナガバチだそうです。昔から馴染みあるハチです。アシナガバチは肉食性で育ち盛りの幼虫の食欲はすさまじく、親蜂は野菜の害虫の虫たちを狩っては肉団子にしてせっせと巣に運びます。農業への貢献度の高い虫です。ただし人も刺すので、手袋や蚊よけネットで注意を！



農園利用希望の方へ……農園の空き情報お知らせします

<問合せ先>島本町農業振興団体協議会・町民農園部会

e-mail: [fukuda-ka@amail.plala.or.jp](mailto:fukuda-ka@amail.plala.or.jp)

# (;^ω^)失敗は宝

経験談



うまく出来たことは意外と忘れるものです。反対に、失敗は悔しさと共に記憶に残るので、失敗からいろいろ学べます。失敗大歓迎！  
**レベルアップの鍵は失敗にあり**

(Oさん)

7月5日に尺代でキュウリ苗を植付け(第二弾として6月初旬に種蒔き)しました。キュウリの収穫も最初は順調でしたが、8月中旬頃から根っこの部分から枯れ始め、実の付いたキュウリも変形して成長が止まった状態になりました。6月、7月の長雨とその後の厳しい日照りの連続が原因なのでしょうか？

同じ時期に、桜井台(島高西側)の畑で第二弾として植えたキュウリはほぼ順調に収穫できています。桜井台の畑の周りは竹藪で、キュウリを植えた場所は日陰ができるところでもあり、尺代と比較して幾分涼しいことが影響しているとも考えられます。

(Hさん)

小玉スイカ…4月半ばに、購入した黄小玉の接ぎ木苗1本を植え、6月末には順調に着果(14個)し、7月20日～8月1日が収穫時期と思っていたところ、7月初旬の長雨のためか7月10日頃から、根本の方から枯れ始め7月20日には葉っぱは全滅、玉のみが転がっている状態。全部収穫したがほとんど甘みが無くジュースの材料になった。2018年西日本豪雨の時と同じ症状、「根腐れ」と思われる。

(Sさん)

8月以降の長雨の影響もあり、キュウリ、ピーマン、の出来が悪くなったのですが、畝を高くしておくことの大切さを改めて感じました。ピーマンが早く赤くなるのは日焼けということを知りました。メロンは、地這ではなく支柱で育てました。孫つるを伸ばして最低限の収穫は出来たと思いますが、株と株との間が充分でなかったため、つるの管理がうまくできませんでした。

(Fさん)

2回目のキュウリは難しいです。7月13日に「夏すずみ」の接ぎ木苗を植えました。しばらくは元気でしたが、長雨で見る見る間に弱り、葉もベト病(茶色い斑点)が広がり、雨があがり元気になるかと思いきや今度は猛暑で、9月初めに数本の実を必死で太くして終わってしまいました。原因の大半は長雨ですが、「夏すずみ」は暑さに弱いように思いました。また、この時期のキュウリ栽培にはベト病対策の農薬が必要なのかもしれません。(春から初夏への栽培は木に勢いがあるので、うどんこ病やベト病に負けませんが。) 同じ時期に別の場所に植えた「暑さに強いストロングキュウリ」の接ぎ木苗は、長雨、猛暑、ベト病にも何とか耐えて、数は多くないですが実を付け続けています。(9月初旬)

(野菜づくりビギナーさん)

1年間を通して畑の土作りから、収穫まで全て自分でする貴重な経験をさせていただきました。種から芽が出た喜びや、ブロッコリーやモロヘイヤの花を初めて見てその可愛さに感動したり、家族と収穫しての楽しさなど、心が動く体験ばかりでした。収穫したての新鮮な美味しさは贅沢ですね。

市民農園はコミュニティ、福祉、環境、耕作空間として都市に必要なもの。  
市民農園(農家と町民)が食や環境の面から地域を維持発展させることをめざします。